

矢臼別演習場で米海兵隊と自衛隊の合同訓練 釧路空港や西港に連日、海兵隊員と武器が運び込まれる

空港、港の軍事利用は許さない



西港に陸揚げされる海兵隊の車両(松永俊雄さん撮影)
釧路西港には12日にフェリー、14日に貨物船で、武器や車両が運び込まれました。

輸送計画は一切明かさず

8月12日から16日にかけて、連日のように米海兵隊員と武器、車両が、釧路港や釧路空港に運び込まれました。矢臼別演習場で行われる米海兵隊と陸上自衛隊の合同軍事演習のためです。合同軍事演習は、矢臼別演習場のほかに、北海道大演習場、上富良野演習場でも行われており、矢臼別以外の二箇所では、米海兵隊のオスプレイも参加しました。

新聞報道によると、矢臼別演習場での訓練には米海兵隊員650名など、全体で850人が参加しています。



装備の輸送にかかわる海兵隊員(右の二人)と自衛官。(西港第4ふ頭)

今回の訓練では、釧路港と釧路空港が兵員、武器、車両などの輸送の拠点として使われました。運び込まれた武器の中には、日本で初めての訓練となる自走式高機動ロケット砲システムが含まれているとみられます。釧路港、釧路空港への輸送予定について、



釧路空港で海兵隊に抗議、右端が村上かずしげ市議(山本隆行さん撮影)

釧路市や自衛隊に何度も問い合わせましたがどこに問い合わせても、「米軍の作戦上の問題であり公表しない」の一点張り。民間空港、港湾であっても一切おかまいなしのやり方は許しがたいものです。万が一のときは、市民の安全より海兵隊の軍事行動の方が大事と言っているようなものです。

しかも、輸送終了後であつても「一切言つてはならないと口止めされた」というから、とんでもないことです。9月議会でも厳しく追及していきます。



アトラス航空のチャーター機が15日と16日、海兵隊員を運んできた。

村上かずしげ 通信 17.8.27

発行 村上和繁 Tel.22-6121